

安全データシート
(SDS)

作成日 : 2022年8月29日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 ウォーターバスター
供給者の会社名 萩原工業株式会社
本社住所 〒712-8502 岡山県倉敷市水島中通一丁目4番地
工場住所 〒719-0303 岡山県浅口郡里庄町浜中133-2
問い合わせ先 合成樹脂事業部門 製造部 生活資材品質向上課
電話番号 0865(64)5800 FAX番号 : 0865(64)5802
推奨用途及び使用上の制限 簡易止水用水のう
整理番号 LL2208051P

2. 危険有害性の要約

GHS分類 本製品は、GHS分類における危険有害性区分に該当しない
GHSラベル要素
絵表示またはシンボル なし
注意喚起語 なし
危険有害性情報 なし

注意書き
安全対策 通常の取扱い条件下では特に危険性は無い。
発火を防ぐために、火花、裸火等の着火源からは遠ざけること。
不織布袋内の吸収材が漏れ出した場合、滑って転倒する恐れあり。

応急処置 通常の取扱い条件下では特になし。必要に応じて、以下の処置を行う。
皮膚に付着した場合：石鹼など低刺激の洗剤を使い、水で洗浄する。
目に入った場合：直ちにゆるやかな流水で取り除かれるまで洗浄する。
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受ける。
火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。

保管 直射日光を避けて涼しい場所に梱包状態で保管する。
火気のある場所、幼児の手の届く場所には保管しない。

廃棄 吸湿や紫外線による機能低下の恐れがあるため、包装ポリ袋を未開封のまま保管する。
自治体の廃棄物処理ルールに従い廃棄する。
海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域にも投棄、放出してはならない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 成形品

成分及び含有量

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲 (wt%)	官報公示整理番号		CAS No.	安衛法	PRTR法
		化審法	安衛法			
アクリル酸重合体部分ナトリウム架橋物	44	(6)-901	-	9003-04-7	-	非該当
ポリエチレンテレフタレート	32	(7)-1022	-	25038-59-9	-	非該当
セルロース	15	(8)-568	-	65996-61-4	-	非該当
イソプロピルアルコール	0.9未満	(2)-207	-	67-63-0	法令指定番号:494 第2種有機溶剤	非該当
二酸化ケイ素	0.2未満	(1)-548	-	7631-86-9	通知対象 法令指定番号:312	非該当
酸化チタン(IV)	0.2未満	(1)-558,(5)-5225	-	13463-67-7	通知対象 法令指定番号:191	非該当
カーボンブラック	0.2未満	(5)-3328,(5)-5222	-	1333-86-4	通知対象 法令指定番号:130	非該当
その他	8未満	-	-	-	-	-

4. 応急措置

吸入した場合 : 通常の取扱い条件下では特にないが、漏出した場合は以下の処置を行う。
症状があれば、新鮮な空気のある場所へ移す。症状変化が現れた場合には、医師の診断を受ける。
被災者が呼吸していて嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。呼吸に関する症状が出た場合は

皮膚に付着した場合 : 石鹼など低刺激の洗剤を使い、水で洗浄する。症状が現れた場合には、直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合 : 直ちにゆるやかな流水で取り除かれるまで洗浄する。洗浄の際、可能ならば瞼を指でよく開いて
眼球、瞼のすみずみまで水が行き渡るよう洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合には、
固着していない限り、取り除いて眼を洗浄する。眼に異常が残る場合は医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 直ちに医師の診断を受ける。被災者の意識のない場合には、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末、泡、二酸化炭素、霧状の強化液、等。
使ってはならない消火剤	特になし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには一酸化炭素が含まれる。火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法	指定の消火剤を用いて消火する。火災場所の周辺には、関係者以外の立ち入りを規制する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業の際は、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク、空気呼吸器)を使用する。風上から消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	通常の手扱い条件下では、特に注意事項はないが、必要に応じて、作業者は適切な保護具(「8 暴露防止及び保護措置」の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。また、不織布袋内の吸収材は、吸水することでゲル状となるため、漏れ出た場合に滑って転倒する恐れがあるので注意すること。
環境に対する注意事項	長期間分解しないため環境汚染の原因となるが、ポリマーの水溶解性は無視できるので、水生生物への毒性は弱いと思われる。但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、いかなる海洋や水域にも投棄、放出してはならない。
封じ込め及び浄化の方法及び基材	飛散した場合は、箒や掃除機等で集めて回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	通常の手扱い条件下では特に注意事項はないが、必要に応じて、「8 暴露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、保護具を着用する。
安全取扱い注意事項	通常の手扱い条件下では特別な換気設備は不要だが、必要に応じて換気のいい場所で使用する。使用直前まで包装ポリ袋は開封しない。開封後は吸湿や紫外線による機能低下を防ぐために、早めに使用する。また、使用後の再利用は不可。着火元・高温な熱源の側に保管しない。保管場所周辺は火気厳禁とする。
接触回避 衛生対策	通常の手扱い条件下では特になし。休憩前や作業後は手を念入りに洗うこと。
保管	
安全な保管条件	直射日光を避けて涼しい場所に保管する。火気のある場所、幼児の手の届く場所には保管しない。
安全な容器包装材料	使用するまでは納品時の梱包材で保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	通常の手扱い条件下では、特別な換気設備は不要。必要に応じて、換気のいい場所で作業を行う。
管理濃度	設定なし
許容濃度	設定なし 但し、粉塵等が発生する場合には、下記に記した勧告値を基準に採用するのが望ましい。

日本産業衛生学会(2021)	時間加重平均値(TWA)	
	吸入性粉塵	総粉塵
第3種粉塵として	2mg/m ³	8mg/m ³
イソプロピルアルコール	400ppm	

ACGIH勧告値	時間加重平均値(TWA)	
一般粉塵(PNOS)としての許容濃度	Respirable: 3mg/m ³	Inhalable: 10mg/m ³
イソプロピルアルコール	200ppm	

保護具	製品形状より、通常の手扱い条件下では呼吸器・目・皮膚への付着を防止する保護具は必要ないが、状況に応じて以下の処置を行う。
呼吸器の保護具	粉塵等が発生する場合は防塵マスク
手の保護具	保護手袋
目の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服(長袖作業衣)、保護靴、保護服等

9. 物理的及び化学的性質

製品の物理的及び化学的性質

物理的外観	
形状	固体(不織布製止水用)のう)
色	BLACK
臭い・臭いの閾値	ほとんど無臭
pH	製品としての情報なし
融点・凝固点	製品としての情報なし
沸点、初留点及び沸騰範囲	情報なし
引火点	情報なし
自然発火温度	製品としての情報なし
可燃限界	製品としての情報なし
蒸気圧	製品としての情報なし
爆発下限界及び爆発上限界	製品としての情報なし
密度及び／又は相対密度	製品としての情報なし
燃焼性	製品としての情報なし
相対ガス密度	製品としての情報なし
溶解度	製品としての情報なし
水溶解性	製品としての情報なし
粒子特性	製品としての情報なし
分解温度	製品としての情報なし
粘度(粘性率)	製品としての情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	一般的な貯蔵・取扱いにおいて安定である。
危険有害反応可能性	通常の取り扱い条件下では危険有害反応を起こさないが、不織布袋内の吸収材は、吸水することでゲル状となり、漏れ出た場合に滑って転倒する恐れがあるので注意すること。
避けるべき条件	直射日光、火気、水濡れ、急激な温度変化。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	火災時、一酸化炭素、やアセトアルデヒド等の有毒ガスを生成する恐れがある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	製品としての情報なし イソプロピルアルコールは区分5に分類されている。
急性毒性（経皮）	製品としての情報なし イソプロピルアルコールは区分5に分類されている。
急性毒性（吸入）	製品としての情報なし
皮膚腐食性／刺激性	製品としての情報なし
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激劇性	製品としての情報なし イソプロピルアルコールは区分2A-2Bに分類されている。
呼吸器感受性	製品としての情報なし
皮膚感受性	製品としての情報なし
生殖細胞変異原性	製品としての情報なし
発がん性	酸化チタン、カーボンブラックはともにIRACはGroup 2B、日本産業衛生学会は第2群Bに分類されている。二酸化ケイ素はIRAC Group 1、日本産業衛生学会は第1群Aに分類されている。
生殖毒性	製品としての情報なし イソプロピルアルコールは区分2に分類されている。
特定標的臓器毒性 （単回ばく露）	製品としての情報なし 二酸化ケイ素は区分1(呼吸器系)、イソプロピルアルコールは区分1（中枢神経系、腎臓、全身毒性）に分類されている。
特定標的臓器毒性 （反復ばく露）	製品としての情報なし カーボンブラックは区分1(肺)、二酸化ケイ素は区分1(呼吸器系、腎臓)、イソプロピルアルコールは区分2（血管、肝臓、脾臓）に分類されている。
誤えん有害性	製品としての情報なし

12. 環境影響情報

製品の環境影響情報	製品としての情報なし
生態毒性	
水生環境有害性 （短期／急性）	製品としての情報なし
水生環境有害性 （長期／慢性）	製品としての情報なし 但し、海洋生物や鳥類が摂取することを防止するために、海洋や水域での投棄、放出はしない。
残留性・分解性	生分解性なく安定で、環境中に長期間残留すると考えられる。
生体蓄積性	製品としての情報なし
土壤中の移動性	製品としての情報なし
オゾン層への有害性	製品としての情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
 廃プラスチックとして「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、焼却又は埋め立てによつて処理する。焼却する時は、焼却設備を用いて大気汚染防止法に適合した処理を施し焼却する。
 また、地方自治体の規制がある場合はそれに従う。

汚染容器及び包装

関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

国連勧告の定義による危険物に該当しない

国連番号

該当しない

国連輸送品名

該当しない

副次危険性

該当しない

国連容器等級

該当しない

海洋汚染物質

該当しない

IBCコード

該当しない

国内規制

陸上規制情報

消防法、道路法に従う。

海上規制情報

船舶安全法に従う。

海洋汚染物質

該当しない

航空規制情報

航空法に従う。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

特別の安全対策

輸送に際しては、梱包材の破損、腐食、漏れの無い様に積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(57条2項)

消防法

合成樹脂類 (3,000kg以上の場合指定可燃物)

危険物第4類 アルコール類(イソプロピルアルコール)

廃棄

廃棄物処理及び清掃に関する法律

化学物質排出把握管理促進法

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

その他、用途による規制有り。(例)食品包装材:食品衛生法、医薬品用容器:薬事法

16. その他情報

参考資料

JIS Z 7252:2019「GHSに基づく化学品の分類方法」

JIS Z 7253:2019「GHSに基づく化学品の有害性情報の伝達方法—ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

原材料のSDS

日本産業衛生学会(2021)許容濃度の勧告

ACGIH

IARC

お問い合わせ先

「1.製品及び会社情報」に記載の連絡先にお問い合わせ下さい。

本「安全データシート」は、JIS Z 7253:2019に準拠し、作成時における入手可能な資料、情報、データに基づき作成を行っておりますが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。また、内容は新しい知見に基づき改訂されることがあります。

本品の取り扱い、通常的な取り扱いを対象としたものです。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行って下さい。

需要家の皆様の使用条件は弊社の管轄外の事項となりますので、取り扱いには十分注意ください。

尚、本シートは情報を提示するものであり、安全や品質を保証するものではありません。